釧路新聞掲載記事

講演・講座・セミナー　教育・学校　釧路市　2026年10月27日 火曜日

「地域や産業を支える」 安達氏講演　短大の必要性解説【釧路市】

釧路公立大学短期大学部の開設に伴う特別講演が２６日、釧路公立大学で開かれた。公立短期大学協会の安達励人副会長（倉敷市立短期大学学長）を招き、市や教育関係者ら５５人が参加。短期大学部の必要性や地域が果たす役割について理解を深めた。

同短期大学部設置準備室が主催。２部構成で実施され、安達氏は「地域に公立短期大学があるということ～倉敷市立短期大学の取組から」と題して、実例を交えて講演した。

安達氏は、若者の将来の選択肢を広げるとともに、地域産業を支える人材育成につながると短期大学の意義を説明。倉敷市立短大の専攻科では、学生が保育現場で働く「パート保育士制度」を導入しており、学生は収入を得ながら現場で専門性を深めることができるという。現場で得た経験や課題を教員と共有し、教育内容の改善やパート保育士の確保につながると紹介した。そして「学びの選択肢があることで、可能性が広がる。その学生が地域との関わりを通じて、将来地域や産業を支えていく」と述べた。短期大学の価値の生み出し方については、学生が主体性を育み、地域との継続的な連携を教育や研究に生かし、教育内容を改善し続けることが重要とした。

２部では、釧路公立大学短期大学部の講師に就任予定の厚海洋幸氏（現釧路短期大学講師）が、同短期大学部として目指す人材育成について講話した。（長谷紅瑠美）



[写真／短期大学の役割などを講話する安達氏]

釧路新聞 2026 年 10 月 27 日掲載（**釧路新聞の許諾取得済み**）